

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

サル用捕獲檻

竹森鐵工株式会社

サルの習性や 運動特性を踏まえ 構造、部品を独自に考案

1955年の創業間もないころから、コンクリート2次製品の強度を確保するため内部に埋め込む補強鉄筋材の製造に取り組んできました。線材径は2.6mmから32mmまで幅広く扱っています。まず線材を切断し、直線機にかけて真っすぐにします。その後、格子状に組み合わせて接合部を溶接し、曲げ加工などを施してコンクリート構造物の形状に合わせて仕上げます。現在では、エルドレイン（高速道路の電気点検道路兼水路）、大型貯留槽など用途も広がっています。

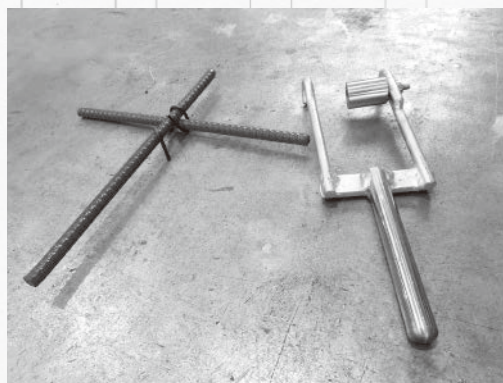
この鉄筋加工技術を生かし、9年ほど前から製造を始めたのが有害鳥獣用の捕獲檻です。イノシシやシカ、クマ、カラスなど要望に応じて手掛けてきましたが、同社の名を上げたのがサル用の檻。サルの習性や運動特性などを研究者にヒアリングし、試行錯誤を重ね3年がかりで完成させました。四方を柵で囲い、天井部分に鉄板を接合した四面の枠をはめ込んだ構造。檻の中に餌を仕掛け、開放された枠の上部からサルを誘い込みま

す。サルの跳躍力は2mあるため鉄板の開口部は高さ2m40cmとし、接合部に使うビスの頭の形状もサルが手を引っ掛けられないよう丸いものを使っています。「毎晩寝る前の1時間は檻や柵の構造や仕掛けを考える時間に充てていた」ほどのめり込んだという竹森寛社長。自治体を中心にここ3年で170のサル用捕獲檻を納めています。現在は和田山工場の敷地内に展示場を整備中です。

一昨年には、沿岸部のコンクリートの塩害対策として、線材にエポキシ樹脂を塗装した鉄筋用に結束用クリップとこれを装着する工具を独自に開発。これが評価され、経産省から昨年度の「はばたく中小企業300社」に選定されました。鉄筋を組み合わせる際、塩が入り込むのを防ぐため原則禁止されている溶接に代わる接合方法です。「独自の鉄筋加工技術と時代のニーズを組み合わせながら、今後も新たな商品開発に取り組んでいきたい」と話します。



サル用捕獲檻



結束用クリップ（左）と装着工具

◎竹森鐵工株式会社の サル用捕獲檻

竹森鐵工株式会社 / 所在地: 朝来市和田山町寺内461-1 / 代表取締役社長: 竹森寛
事業内容: 補強鉄筋材、獣害対策製品の製造
TEL 079-675-2982 / URL <https://www.t-takemori.jp/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」の取材で竹森鐵工のサル用捕獲檻を見せてもらいました。一見シンプルですが、運動能力抜群で賢いサルをいかに誘い込み、そして逃げないようにするか、たくさんの知恵が詰まっています。

JUMP

2020年7月号 令和2年7月15日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>